

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.9.5変更】

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																									
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
人権・労働		【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	【予定】社内ルールに記載する。					5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8					10.2 10.3									16.1 16.2 16.7		
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・方針、ルールは就業規則に記載あり。 【予定】相談窓口を設ける。					5.1 5.2 5.5					8.5 8.8													16.1			
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・残業の削減について社員への声掛け、工程管理を行っている。 ・有給休暇の取得等については就業規則に記載、社員に周知して取得を促進している。											8.5 8.8															
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者を雇用していない。				4.4							8.7 8.8					10.2 10.3										
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・ポスターの設置、工程会にて安全作業・KY活動を実施。 ・方針、ルールは就業規則に記載あり。				3							8															
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	代表者と社員との定期的な個人面談を実施している。				3																						
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・女性の働きやすい「子育て推進事業所」として定められている。 ・育児休暇の取得、時短勤務の実施等対応。					5.1 5.5					8.5						10.2 10.3										
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・研修会や講習会への積極的な参加により技術、能力訓練を行っている。				4	5.5					8		9														
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・原則として全員を正規雇用とし、格差を無くしている。					5.5					8.5						10.2 10.3										
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・定期健康診断を行い、通院が必要な社員については作業時間の変更等に柔軟に対応している。				3						8																
	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・環境に考慮した焼却炉を設置している。 ・鉄板は回収、その他は処分業者に委託。リサイクルできる部品等は積極的に再利用している。																11.6	12.4	14.1							
			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・ソーラーパネルの発電量を把握している。										7.3							13								
			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・工場内照明についてはLEDライトを導入している。										7.2 7.3							12.4	13.3							
			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・工場内の水銀灯はすべてLED照明に交換済み。 ・有害物質がある材料は適切な処理業者に委託。				3.9			6.3										11.6	12.4							

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (異などの取得認語があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																							
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・月1回のごみ拾いを実施。 産業汚染水等は適切に処理し、下水等に流さないよう徹底している。							6.6											15						
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・コピー用紙の裏紙利用、補充・詰替製品使用の徹底。												12.5		14.1										
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・水を使用するものは定量を守るよう徹底している。						6.4	6.6																	
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ						3.9		6	7					12	13.3	14	15								
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】ホームページにて活動を掲載する。													12.6											
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・太陽光パネルの設置。							7.2							13										
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ														12.2	13	14	15								
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・方針、ルールを就業規則に記載し、周知している。																					16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則に記載し、周知している。																						16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・営業秘密の管理、秘密保持契約の徹底等について就業規則に記載し、周知している。								8.2	8.3	9														
25	公正な 事業 慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・方針、ルールを就業規則に記載し、管理している。																						16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																								16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ							5			8		10		12	13	14	15	16	17						
28		【パートナーシップ構築宣言】 (R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】パートナーシップ構築宣言を作成・公表している。								3			8	9	10										17	

※ 「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。 <https://www.biz-partnership.jp/>

非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認語があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																					
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	作業工程・組織体系を明確にした書類を作成している。 ・政策要領書を作成し、手順通りに作業できるように工程管理を行っている。				3.9							12.4							
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	不具合発生時は工事担当者に伝えて対応するスキームが構築されている。 ・使用している機械の定期点検を行っている。								9										
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・エフオースター所得の材料を選定し、使用している。						6				12	13	14	15					
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地元の青年部、女性部、商工会に加入し、意見交換などを積極的にを行っている。				4					9	11	12	14	15			17		
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地元のお祭り、花火大会などに寄付。 ・美化活動に積極的に参加。 ・消防団協力事業所に認定、「安心の家」登録。 ・中学生職場体験の受け入れ。				4						11		14	15			17		
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ										8	9	11	12	13					
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	・社員の目のつく場所に、経営理念、社訓、スローガンを掲示している。朝礼時に唱和も実施。									8	9							17	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・法令遵守の徹底について就業規則に記載している。																	16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・リスクマネジメント、CSR等についてそれぞれ担当者を決めていく。																	16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・取引先主催の講演会への参加や、担当者と相手先様との打合せ等を実施している。																	16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・週一回の社内会議でリスクのチェックを行っている。																		16
41	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																			16
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・社員の感染症罹患等発生時には全員に周知する連絡網が構築されている。 ・【予定】防災訓練を年1回実施する。									9		11		13	13.1			16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者は決まっており、何度も話し合いを行っている。																		17

上記以外で設定した取組項目																					
独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認定制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA (Responsible Business Alliance)（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**赤字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定